

Monthly Digest

長崎玉屋

再開発に合わせ建て替えへ

佐世保玉屋(長崎県佐世保市)は、長崎市新大工町で運営する百貨店「長崎玉屋」の再開発に合わせて建て替えることを発表し、長崎玉屋は来年2月末で一時休業する。新店舗の規模や開業時期などは今後検討するとしている。

長崎玉屋は1969年に開業。建物は7階(一部8階)建て、現在は1、3階で営業している。



る。地域の百貨店として親しまれてきたが、売り上げは減少傾向にある。再開発は、デベロッパーの森ビルグループ(東京)と連携して進めるとしている。

Monthly Digest

西鉄など4交通事業者

外国人向けの1日乗車券

西日本鉄道、JR九州、昭和自動車(佐賀県唐津市)、福岡市は外国人旅行者を対象にした福岡市内公共交通機関の1日乗車券「FUKUOKA TOURIST CITY PASS」を10月から本格的に発売した。社会実験として12年9月から行った試験販売では、目標を約3000枚上回る約1万5000枚が売れた。

利用できるのは、市営地下鉄全線、JR九州、昭和自動車のバス、西鉄バス・電車。福岡市内のみは大人800円(子ども半額)、西鉄太宰府駅までは同1300円(同)。18施設の入場料が無料や割引で利用できる特典もある。博多港国際ターミナルや福岡空港、博多駅などで販売している。

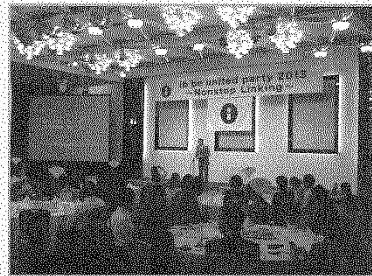


毎年恒例のパーティーに約160人参加 ibb (アイビービー)

廣田商事(福岡市、廣田稔社長)の子会社でベンチャー企業を支援するibb(同、同)主催の「ib be united party2013」が9月3日、同市・天神のソラリア西鉄ホテルで開かれ、約160人が参加した。

同社が管理するインキュベーション施設の入居者はじめベンチャー企業関係者が集う毎年恒例のイベントで今回のテーマは「Nonstop Linking」。廣田社長は「ここにお集まりの皆さんがつながる(link)ことを大切にしてほしい。当社も不動産を通じたベンチャー支援を行っていききたい」と挨拶した。防音設備のあるミュージシャン向けのマンション「ibb Db 桜坂 Launch」をPRし「音楽を通じて世界で活躍する人がでてほしい」と話した。

また同社が運営する、上場を目指す経営者の集い「社長塾」のメンバー、グランディーズ(大分市)の亀井浩社長が挨拶。昨年12月に福証の「Q-Bord」に上場したことを受けて「経営者が上場に対する気持ちをもち続けていれば必ず上場できる」と話した。



Monthly Digest

富士ビー・エス

ミヤンマー企業と提携へ

土木建築工事の富士ビー・エス(福岡市)は、ミヤンマーの建設関連企業と協業体制構築について検討することで基本合意したと発表

表した。経済発展が期待される同国でインフラ整備や住宅開発への参入を目指す。

ミヤンマーでは鉄道・高速道路などのインフラ整備や住宅開発などの大型プロジェクトが計画されている。今後、内野寛副社長をトップとする「ミヤンマー事業推進本部」を設置。現地企業の工事受注状況に合わせ、コンクリート技術の指導や施工支援などを行う。